



いきいき

小富士っ子



R5学校便り No12

令和5.9.19

四国中央市立
小富士小学校

読めるかな～校長からの挑戦～

ひらがなばかりの文章って読みづらいですよ。では、下の文章はどうですか。すらすら読めますか。「舐めるなよ」と思わずに読んでみてください。(引用元の文を改作)

こんちには みसानん おんげき ですか？ わしたは げんき です。 この ぶんよし
う は イリギス の ケブンツリジ だがいく の けゆきんう の けっか にんげん は
もじ を にしんき する とき その さしいよ と さいご の もさじえ あいてれば
じんばゆん は めちくやちゃ でも ちんやと よめる という けゆきんう に もづいと
て わざと もじの じんばゆん を いかれえて あまりす。 どどうす？ ちんやと
よまめしかた？

最初から違和感があったり、間違いに気が付いたりした人は、純粋な人かもしれません。気になることなく読めた人は、もう一度よく読んでみてください。よく見れば、まあまあでたらめな文章が書かれています。でも、なぜか読めます。小学生低学年だと冒頭から「こ・ん・ち・に・は」と正確に読むでしょう。けれども、意味が通る文としては読めません。「なぜ読めるのか」は科学的に証明されていないようですが、今までの経験や記憶から予測して、無意識に読める単語に変換して認識してしまうからではないかとされています。このでたらめな文章が読めるのは、文字を読む経験の積み重ねの結果、つまり学習の成果ということです。しかし、間違いに気が付かずに読めることは、良いことでしょうか。これもまた学習によって身に付けた先入観のせいで読めてしまっているとも考えられます。先入観を持たず正しく読み解くことや、自分の読解力を疑いながら丁寧に読み進めることは大切なことです。自分の言動においても同じことが言えるのではないのでしょうか。無意識に間違った行動を取っていたり、先入観に邪魔をされて正しく判断できなかつたりしないよう、いつも「自分の言動は正しいのか」を問い掛けながら、自分を磨き続けたいものです。



シルバーウィーク

9月には「国民の祝日」が2回あります。敬老の日と秋分の日です。この2日が近い日（今年は9月18日と9月23日です）なので、それぞれの祝日を含む休日から休日をシルバーウィークと呼んでいます。大抵は間に何日か平日を挟んでいますが、年によっては5連休になることもあります。敬老の日は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。」ことを趣旨としていますから、普段以上に高齢者を敬う日にしないといけません。秋分の日「祖先をうやまい、なくなった人をしのぶ。」ことを趣旨としています。いずれも先人・先達に想いを馳せる日ですね。日本では高齢者＝シルバーのイメージが定着しているので、祝日の趣旨からもシルバーウィークの呼び名は、しっくりきます。楽しいだけでなく祝日の趣旨を考えたシルバーウィークにしたいですね。